

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき，教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い，その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

平成28年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

平成28年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み，成果等を取りまとめ教育に関し学識経験を有する方から総合的な評価を受けた。

○ご意見をいただいた学識経験者

（順不同，敬称略）

梅 澤 浩	元茨城県立水海道第一高等学校長
吉 原 寛 侔	元常総市立石下小学校長

総合評価

1 「学校教育を充実し、次世代を育てる」ことについて

- 平成27年9月の関東・東北豪雨により被災した学校施設の復旧が順調に進められ、教育環境が整備されたことを評価したい。児童生徒は、普段の学校生活に戻り、登校して勉学に励めること、友と遊び、語らえることの楽しさ、大切さを学んだことと思う。
また、小中学校での一斉の防災訓練については、恒常化して、防災教育の実践により、防災意識の向上並びに災害への対応力強化に取り組まれることを願う。
- 中学校に続いて小学校にも空調設備が設置され、児童生徒の学習環境が大きく改善されたことと思う。今後は、それぞれの施設の状況を的確に把握したうえで、教育環境の整備、充実を図られたい。
- 学習指導要領の趣旨に則り児童生徒の教育に取り組んでいただきたい。また、2020年度から実施される次期学習指導要領の検討にも早期に取り組んでいただきたい。
児童生徒の学力の向上を支える最大の要素は教員の指導力であることは言うまでもない。教員一人一人が自分の所属する学校の課題を把握し、さらに共通理解したうえで、その解決に向けた地道な実践や研修を積み重ねていくことが大切であろう。
- 情報化社会に乗り遅れることなくICT活用の推進と授業への活用に積極的に取り組んでほしい。セキュリティ教育及びリテラシー教育が大切である。
- 学習につまずきが見られる児童生徒に対しては少人数でのきめ細かい指導が大切である。「常総ほっとサタデー教室」の継続、拡充に期待する。
- 学校給食への最大の願いは安全・安心な食の提供である。「学校給食衛生管理基準」及び「学校給食衛生管理マニュアル」にもとづいて今まで以上に衛生管理を徹底していただきたい。

2 「生涯を通じた学習活動を促進する」 ことについて

- 関東・東北豪雨によって被災した諸施設の復旧への努力を評価したい。
- 市民のライフステージに応じた学習機会の提供は、生活の豊かさを求めるうえで必要なことである。そのためには、多様な学習プログラムの提供とともに学習情報の発信、学習施設の充実、学習活動の支援等がますます重要である。
- 郷土の歴史的遺産を大切にする心は郷土を愛する心である。特に全国的な関心事になりつつある「長塚節文学賞」のさらなる充実に期待する。
それに加え、市民の間で、長塚節の業績への理解がもっと深まることを望む。
- 青少年の健全育成においては、それぞれの機関、組織の役割や活動内容を再確認、見直しを行い、そのうえで連携の強化を図ることが必要と考える。
青少年育成常総市民会議の石下地区の対応については早急な検討をお願いしたい。
また、少子化に伴い、「子ども会活動」ができなくなっている自治区が増えているようである。「子ども会」は、地域の大人と子どもをつなぐ重要な組織であり、実態を把握したうえで、復活の方法を探してほしい。
- リーダース高校生会は、若者が社会活動に参加することによって、人間的に大きく成長していく意義ある組織であると思う。高校への働きかけと、連携を深めるための努力が必要であろう。
- 人の前で自分の考えを述べることを苦手とする子供たちの傾向を解消するためにも「少年の主張大会」の充実に期待する。柔軟な思考力、発想力、想像力そして自信を身につける機会の継続的な提供を望む。
- 総合型スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」への充実した支援を行い、スポーツを愛する市民の裾野の拡大を期待する。
- 常総市駅伝大会の毎年の開催については、多くの障害があると想像するが、関係機関と協議し、継続的行事として位置づけし、市民に活気を与えていただきたい。